

VISUALIZE THE FUTURE



2019年3月期 第2四半期

決算説明会

株式会社デジタルメディアプロフェッショナル

2018年11月20日

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
様々な要因の変化により実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

- 1 2019年3月期 第2四半期 決算説明**
- 2 2019年3月期 通期業績予想**
- 3 今後の成長イメージ**

1 2019年3月期 第2四半期 決算説明

2 2019年3月期 通期業績予想

3 今後の成長イメージ

半導体業界

- SIAによると2018年8月（2018年6～8月の3カ月平均値）の半導体売上高は、401億6000万米ドルと過去最高。ただし、YTY成長率は昨年同期は20%に比べ14.9%増と減速。地域別成長率では中国（27%）、米国（15%）、欧州（9.5%）、日本（8.5%）の順
- スマートフォン向けが減速する一方、今後自動車、IoT向け需要が市場を牽引

AI / ビジュアル・コンピューティング分野

- Tracticaによると全世界で70社以上がAI向けチップ新規開発中
- TracticaによるとAIのチップセットマーケットが2025年に\$66B(CAGR 73%)に成長
- エッジAIデバイスの2025年出荷数は年間26億個を予想

売上高はほぼ計画通り、利益面は計画を上回る

● 製品事業（売上高 6百万円）

- ・ 画像処理LSI「RS1」の販売（本格的な売上貢献は第4四半期を見込む）
- ・ DV700 AI 評価キット「ZIA C2、C3」の販売を開始

● IPコアライセンス事業（売上高 142百万円）

- ・ 台湾半導体顧客のカメラ向け新製品出荷が売り上げ寄与するも、既存顧客からのゲーム機、デジカメのランニングロイヤリティが弱含み
- ・ ZIA Classifierの新規顧客向けライセンス契約
- ・ AIプロセッサー新製品「ZIA DV500」のライセンス契約

 [詳細13ページ](#)

● プロフェッショナルサービス事業（売上高 202百万円）

- ・ 車載機器メーカーからのAI関連受託案件が堅調に推移
- ・ NEDOの「省電力AIエンジン受託開発」も安定的に売上貢献

2019年3月期 第2四半期 決算概要 (P/L)



(単位：百万円)

	2019年3月期 第2四半期 (当初予想)	2019年3月期 第2四半期 (実績)	当初予想比 増減	2018年3月期 第2四半期 (実績)	前年同期比 増減
売上高	360	351	△9	442	△91
営業利益	△30	△17	13	18	△35
経常利益	△30	△8	22	19	△27
当期純利益	△30	△8	22	19	△27

■ 当初予想との差異

- 売上高は、プロフェッショナル・サービスが計画を上回る進捗（+108百万円）となるも、IPライセンス・ロイヤリティ（△90百万円）、製品売上（△25百万円）が計画未達で進捗
- 販管費の削減（△16百万円）等により、営業利益は13百万円の改善、また、為替差益（+7百万）等の計上により、経常利益・当期純利益は22百万円の改善

■ 前年同期との差異

- 売上高の差異は、GPU IPのライセンス・ロイヤリティ売上の減少（△92百万円）が主要因
- 販管費は、RS1の開発完了により開発費負担が無くなり改善するも、売上の不足により、営業・経常利益ともに損失計上

2019年3月期 第2四半期 決算概要 (B/S)



(単位：百万円)

	2018年 3月末	2018年 9月末	増減額
流動資産	1,774	1,678	△96
固定資産	346	317	△29
資産合計	2,121	1,995	△125
流動負債	228	75	△153
固定負債	18	18	0
負債合計	247	94	△153
純資産合計	1,873	1,901	27
負債・純資産合計	2,121	1,995	△125

✓ 自己資本比率は95%の高水準を維持

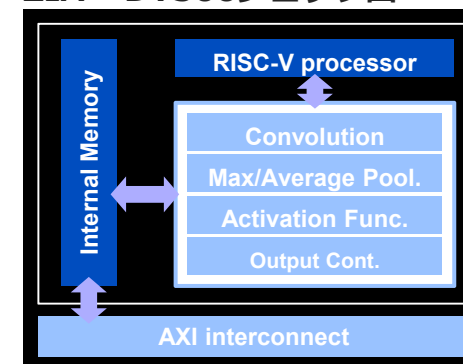
NEW ZIA DV500 AI プロセッサIP発売開始 (2018年4月25日発表)

物体認識に特化した超小型AIプロセッサIP

ZIA™ DV500

産業機器や自動車運転支援システムでよく使われる、シーン理解や物体認識機能に最適化することで高い処理性能を維持しながら、小型化を実現

ZIA™ DV500ブロック図



人、車、横断歩道、
標識など物体の検出 (SSD)



木、空、道路、路肩、建物、人などの
ピクセル単位分類 (SegNet)



NEW ZIA C2/C3 エッジAIモジュール発売開始 (2018年9月18日発表)

- DMP DV700をFPGAに搭載しコンパクトで低消費電力かつ高性能なAI推論処理モジュール
- Intel製FPGAを搭載するC2と、Xilinx製FPGAを搭載するC3を提供し、業界主流のFPGAをカバー



- DMP DV700 AIプロセッサIP
- 使用FPGA : Intel Arria (C2), Xilinx Zynq (C3)
- デュアルコアARMプロセッサ
- 2GB メインメモリー
- 16GB フラッシュメモリー
- 寸法 : 90mm x 90mm



高度なAI推論処理

「ZIA™ DV700」による高い性能と精度。



省電力でファンレスを実現

故障や構造設計の制約の問題になりやすい冷却ファンが不要。



使い勝手の良さ

CaffeやKerasのAI開発フレームワークをサポート。



フレキシビリティ

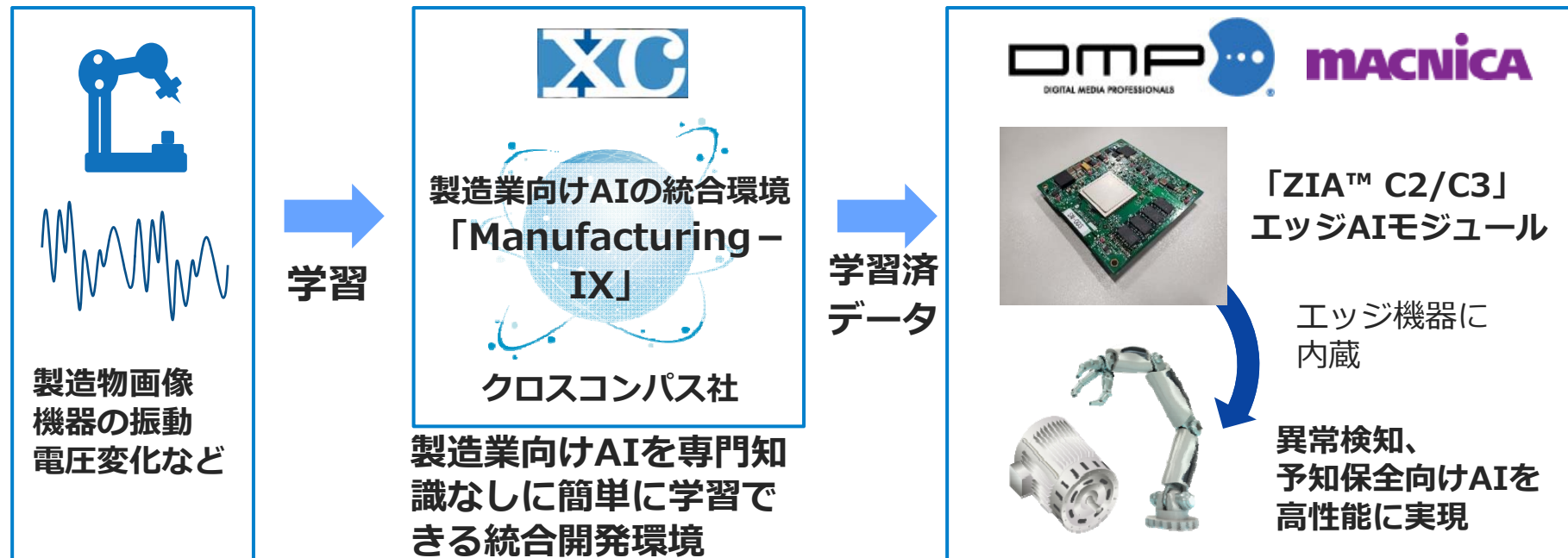
FPGAによりハードウェアのアップデートが可能。



長期供給

産業機器で長期供給の実績が豊富なFPGAを活用したモジュール。

(株)マクニカ、(株)クロスコンパスと製造業向けAIの生成から エッジAI 実装までの統合環境で技術提携 (2018年9月19日公表)



幅広い分野において短期間でエッジAIシステムを構築

- ファクトリーオートメーション
- 物流における自立ロボット
- 医療

(株)PALTEKとの協業



- Xilinx FPGAを活用したエッジAIソリューションで協業 (2018年8月30日公表)
- ZIA C3販売代理店契約を締結 (2018年11月6日公表)

～ 産業用IoTのエッジAI化を加速 ～

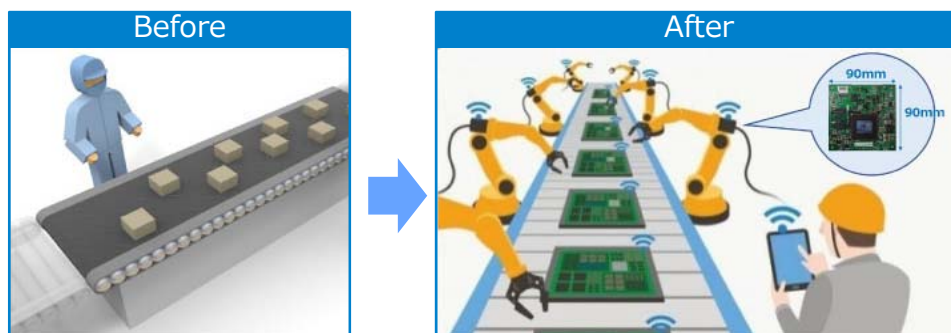
分野

FAカメラ・ロボット・建機・農機・検査装置・医療機器

アプリケーション

外観検査、予知保全、異物/異音検査、走路認識、障害物検出、作物収穫判定等

活用例 良品不良品の判別



人の目で見て判断

AIロボットで自動判別

活用例 生産ラインの効率化



人物追尾・人物認識・動線管理

UKC製カメラモニタリングシステムに「ZIA™DV500」採用

ソニー製イメージセンサー搭載車載向けカメラモニタリングシステム (CMS)を共同開発

2019年2月販売開始予定



CMSスマートミラー装着イメージ



人、自転車、自動車などを自動認識、警告

- ・車室内の荷物や車体による視野制限を受けない
- ・天候に左右されず通常ミラーよりも広範囲の視認

- 1 2019年3月期 第2四半期 決算説明
- 2 2019年3月期 通期業績予想
- 3 今後の成長イメージ

■ 「RS1」量産開始によるSoCビジネスの本格立ち上げ

- 複数の大手有力顧客で採用されたことで、業界標準プラットフォームを目指し顧客製品立ち上げサポートに注力

■ ZIAプラットフォーム製品の拡販及びポートフォリオ拡充

- ZIA Classifierの新規顧客開拓
- DV700/DV500のライセンス契約の獲得
- 組み込み機器向けAI FPGAモジュール「ZIA C2」「ZIA C3」の販促を推進

■ アライアンスの推進

- パートナー企業との協業によるAIソリューション提供



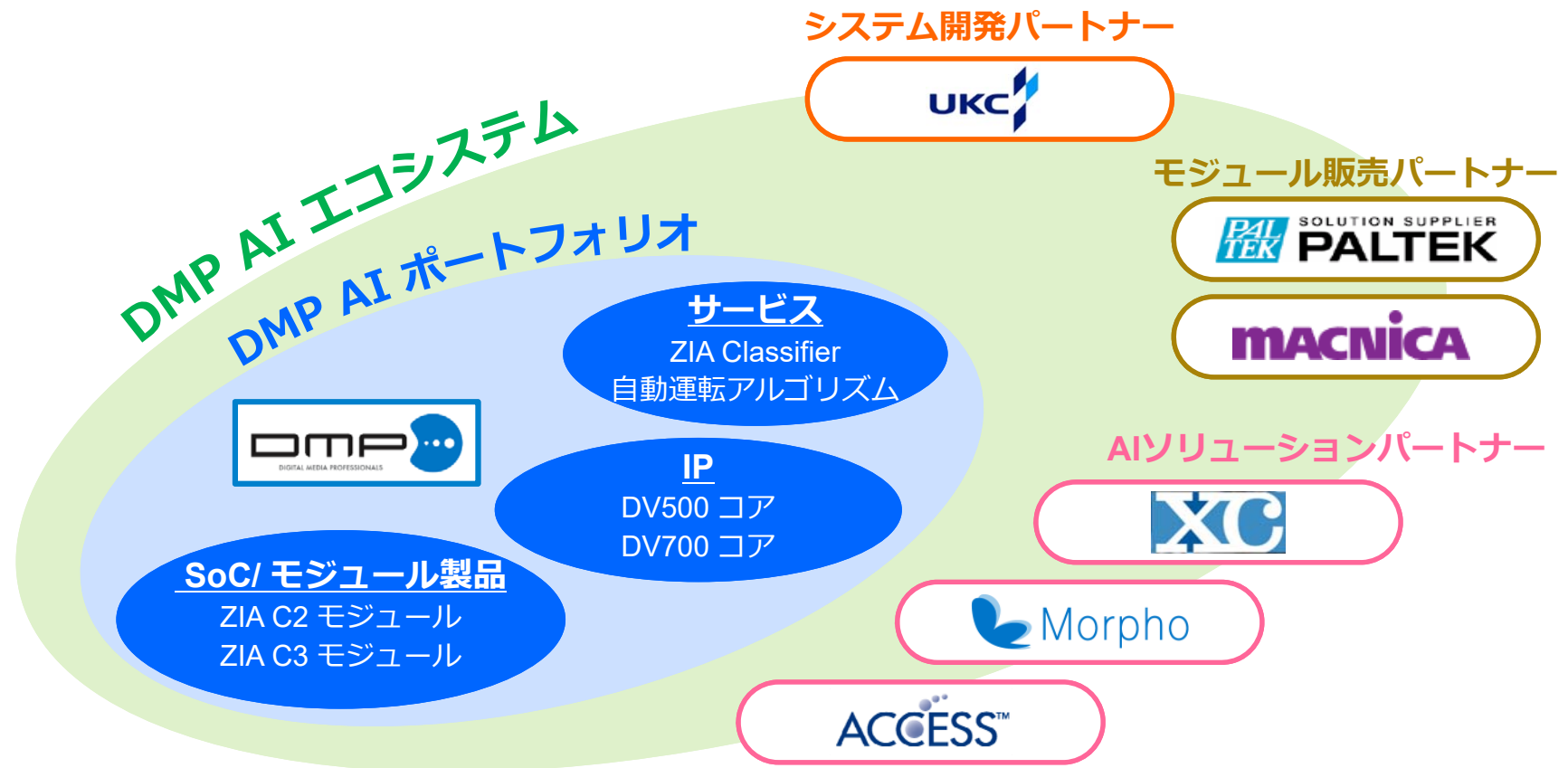
more...

■ NEDO 省電力AIエンジン受託開発の推進

■ 車載機器メーカー向けAI関連プロフェッショナルサービスの推進

▶▶▶ 引き続きこれらの取り組みを推進し、通期目標達成へ

- IP、ハード/ソフト製品、サービスを含む幅広いエッジAI向けポートフォリオ
- エコシステムを通じたソリューション提供



RS1の販売数量増およびAI製品・サービスの拡充により、
売上高、営業利益、経常利益ともに増加

(単位：百万円)

	2018年3月期 (実績)	2019年3月期 (予想)	前期比	
			(金額)	(増減率)
売上高	973	1,200	227	23.3%
営業利益	69	100	31	44.9%
経常利益	66	100	34	51.5%
当期純利益	109	90	△19	△19.0%

- 1 2019年3月期 第2四半期 決算説明
- 2 2019年3月期 通期業績予想
- 3 今後の成長イメージ

新しい成長領域の確立

成長するIoT・AI(人工知能)分野へ拡大

AIアルゴリズム、ソフトウェア、ハードウェアを一貫して開発

勝てる「アミューズメント市場」で SoCビジネス基盤確立

- ・ 新製品「RS1」の量産化
- ・ 業界標準プラットフォームを目指す

ZIAプラットフォームの展開

- ・ エッジAIプロセッサ
- ・ ソフトウェア
- ・ モジュール
- ・ パートナーとのソリューション提供
- ・ 海外展開

自動車向けを中心としたプロフェッショナルサービス拡大

- ・ 自動運転アルゴリズム

SoC/モジュールビジネス拡大

- ・ アミューズメントSoCトップシェア
- ・ ハイボリュームAI製品

現在地

フェーズ1

フェーズ2

フェーズ3

ご清聴、誠に有難うございました。

〈お問い合わせ先〉

(株)デジタルメディアプロフェッショナル 管理部

TEL:03-6454-0450

URL:<https://www.dmprof.com/jp/ir/>

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動することがあります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載されている将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。